

経済建設常任委員会の審議から

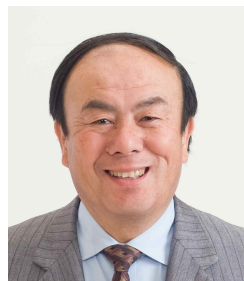
「釧路を変えて」の声を受け新市政とも積極的に論戦

市議会後半の常任委員会の審査も終わり、17日には議案の採決が行われました。日本共産党議員団は宿泊税の導入、入湯税の増税とそれに関する基金の条例に反対しました。今回は、村上かずしげ議員が所属する「経済建設常任委員会」の審議のなかから、いくつかの質問を紹介します。

カジノの阿寒湖誘致については、

関係者と話し合って市の方針を「決める」!?

と見ています。私は「誘致はやめる」との答弁を期待していましたが、「これまでの経過や誘致の民間団体もあり、関係者



村上かずしげ

とも話し合って市の方針を決めたい」と答弁しました。

前市長のように誘致一辺倒ではありませんが、残念な答弁でした。



前市長は、阿寒湖温泉を世界

一級の観光地とするには、カジノやホテル、展示場、会議室を

一体とした統合型リゾートが必要と誘致を進めてきました。道

がカジノの申請をあきらめたあとも、毎年、統合型リゾート推

進費を予算に盛りこみました。ただし、執行額ゼロですが・・・。

新市長は阿寒湖出身、アイヌ文化と自然環境を大切にしてい

心配される再来年の上下水道料金値上げ

R17年度までの上下水道の収

支見込みで、水道はR9年度から、下水道はR12年度から実質

的な資金不足に陥るとの報告がされました。1月には上下水道

審議会に経営のあり方を諮問します。4年ごとの料金見直し、

今回は8年度から11年度の料金を検討します。値上げの地なら

しでしょうか？

物価高騰は一向におさまりません。もし、今後の料金値上げ

の提案がされるようなら、厳しく反対していきます。



市政を変えろという

熱意はうかがえず

市長の答弁で目立ったのは「検

討」というフレーズと前市政か

らの継続を重視する姿勢です。

「市政を変えて」との市民の期待

が市長を押し上げたのに、市長

からは熱量は感じませんでした。

一番気になった答弁を紹介し

ます。



自衛隊などの港、空港使用に便

宜をはかるためにできたのが「特

定利用港湾」制度。前市長が釧

路港の選定を受け入れました。

前市長は「防衛は国の専権事項

で自治体が協力するのは当然」

との立場でしたが、新市長も、「特

定利用港湾の国との確認書につい

ては守る」と担当課に言いまし

た。